

第16号

平成30年11月20日

工業系高校人材育成コンソーシアム千葉会長 小野 祐司

平成30年6月13日に日本大学生産工学部津田沼キャンパスを会場として開催しました、平成30年度「工業系高校人材育成コンソーシアム千葉（以下「コンソーシアム」という）・第1回総会」で説明がありました姉崎高校の「ものづくりコース」、天羽高校の「工業基礎コース」の設置について、教育政策課高校改革推進室から準備状況の報告がありました。

1

姉崎高校「ものづくりコース」・天羽高校「工業基礎コース」について

姉崎高校の「ものづくりコース」、天羽高校の「工業基礎コース」の設置準備室が両校の校長先生を室長として開設し、準備作業を始めました。

7月上旬に行われた両校の第1回設置準備室会議の概要は、以下のとおりです。

- (1) 自己紹介
- (2) コース設置のビジョンについて
- (3) 準備室運営の全体計画・運営方法について
 - ア 準備室の事務について
 - イ 準備室会議と作業部会（校内準備委員会）について
 - ウ 今後の検討事項及びスケジュールについて
- (4) 本年度の取組課題について
 - ア 会議日程
 - イ 情報収集について
 - ウ 企業・市との連絡調整会議について

【姉崎高校小野校長】挨拶

私も含めて職員全員、工業に携わってきた経験がほとんどない。工業の専門の教員がいない普通科の学校で工業系のコースを設置するという一方で、そのカリキュラム、実習室はどうあるべきか問い始めている。

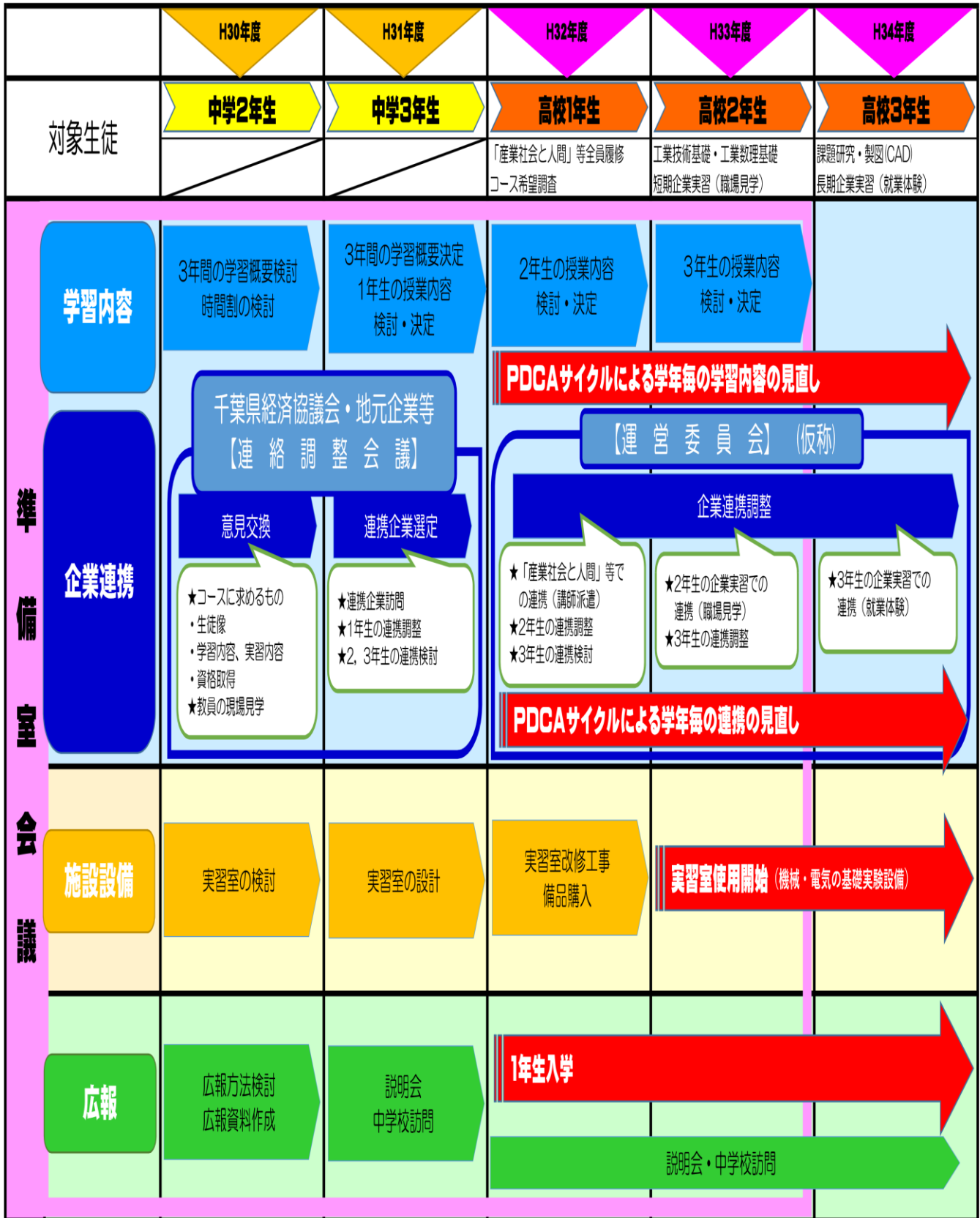
姉崎高校は、学力、生活態度ともに向上している。生徒のものづくりに対する意識を高め、近隣のものづくり企業への就職を目指す。工業科ではないため時間の縛りが非常に強く、最低限何をやらなければならないのか、余裕のない中で何を優先していくかという取捨選択の問題が現在の大きな課題である。

【天羽高校藤平校長】挨拶

本校は今年度で地域連携アクティブスクールとして7年目を迎え、学び直し・キャリア教育・体験活動等の取組を行いながら、自立した社会人の育成を目標に教育活動を展開し、地域の中学校や住民からも、その取組は評価をされている。

本校の約7割の生徒が卒業後の進路として就職を希望している。地元には新富工場地域等の工業系の企業が沢山ありながら、そういった企業は基礎学力の高い生徒を採用する傾向があるため、本校生徒が同じ土俵に上がっていない現状がある。その打開策として、工業系地元企業のサポートの下、企業が求める生徒を工業基礎コースで育成していく。

普通科工業系コース設置に向けたロードマップ（イメージ）



平成 30 年度 第 12 回高校生理学研究発表会の内容は、以下のとおりです。

日 時 平成 30 年 9 月 29 日 (土) 8:30~17:00
 会 場 千葉大学西千葉キャンパス体育館等
 主 催 千葉大学
 共 催 千葉県教育委員会
 参加数 359 件
 (物理 I : 60、 物理 II (工業分野) : 30、
 化学 I : 42、 化学 II : 62、 生物 I : 61、
 生物 II : 57、 地学 : 24、 数学・情報 : 23)



各部類において参加した生徒が真剣に取り組み、日頃の研究成果を発表していました。県内の工業高校からは 8 団体が参加しましたが、工業分野 (物理 II の部) では、普通科や理数科の学校が受賞し、残念ながら工業系高校の受賞はありませんでした。

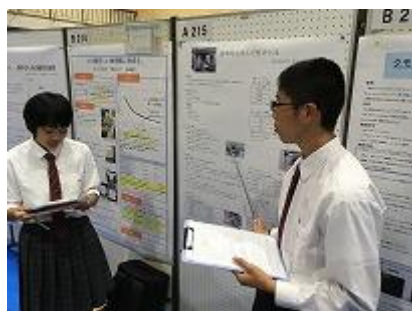
他校の生徒たちや先生方との会話の中で励まされ、研究発展のヒントが得られるのもこの発表会の大きな魅力です。研究内容はもちろんですが、ポスターの出来映え、プレゼンテーション能力も評価のポイントとなります。英語による発表も奨励されており、県内の工業高校からも英語で発表する生徒の姿が見られました。

部 類	タイトル	発表校
生物 I の部	カラフトフクロウの最高可聴周波数	千葉工業高校
化学 I の部	The development of the chemical experiment and the conducted 化学実験の開発とその実施	千葉工業高校
	化学カイロと瞬間冷却剤の作製とその応用	千葉工業高校
化学 II の部	市販品に近い消しゴムの作製	千葉工業高校
物理 II の部	LEGO マインドストームを使用した宇宙エレベーターの研究	千葉工業高校
	効率的なはんだ付けとは	清水高校
	フィリピンを対象とした火災による燃え広がりを抑止する研究	市川工業高校
数学・情報の部	見えているものは正しいの? ~錯視を知ろう~	千葉工業高校

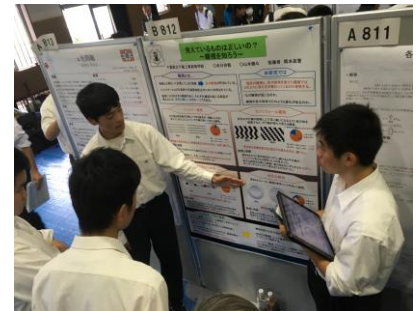
表 工業高校からの参加団体一覧



市川工業高校の発表



清水高校の発表



千葉工業高校の発表

平成 30 年度千葉県高等学校産業教育フェアの内容は、以下のとおりです。

日 時	平成 30 年 10 月 28 日 (日) 10:00~16:00
会 場	きぼーる (アトリウム)
主 催	千葉県高等学校産業教育フェア・千葉県特別支援学校ものづくりフェア実行委員会
後 援	千葉県産業教育振興会、千葉県教育委員会、千葉市教育委員会
テーマ	専門の高校・特別支援学校ってどんなところ？見て・触れて、体験しよう！
体 験	(1) 電子工作 (電子オルゴールの製作) (東総工業・清水) (2) カラーボール・UVレンジ (茂原樟陽) (3) iPad によるタブレット入門教室 (千葉工業・市川工業)

産業教育フェアは毎年行われていて、県内 9 分野、工業・農業・商業・水産・家庭・福祉・看護・情報・総合学科と特別支援学校が参加し、県民に産業系の学科と特別支援学校における教育活動の PR を行っています。工業系学科は、ロボットや飛行機のほか、各学科の製作物 (作品) の展示や生徒の研究発表がありました。通りがかりの一般の方々も立ち寄り、それぞれのブースで興味を示しながら話を聞いたり、展示物を見て、触れて、体験していました。

また体験コーナーでは、興味を持った小学生等で満席となり、終了時刻後も製作が終わるまで小学生が熱心に製作や体験を行いました。



会場風景



工業系学科展示ブース



体験コーナー

今後の予定

- ・ 12 月 1 日 (土) 第 35 回千工研総合技術コンクール (会場：千葉県立市川工業高等学校)
- ・ 12 月 10 日 (月) 職員研修 [課題研究基礎コース] (会場：千葉県立京葉工業高等学校)
- ・ 2 月 5 日 (火) コンソーシアム 第 2 回総会・生徒研究発表会 (会場：県立現代産業科学館)

工業系高校人材育成コンソーシアム千葉事務局
 事務局長 (千葉工業高校教頭) 田口 英彦
 TEL 043-264-6251 FAX 043-268-5524